

手術不能または再発乳がん

nab-PTX weekly + Bev療法

4週毎

薬剤・略号等	商品名	投与量	投与日
パクリタキセル (アルブミン懸濁型)	アブラキサン	100 mg/m ²	Day1,8,15
ベバシズマブ	アバスチン	10 mg/kg	Day1,15

Day1,15

- ① 生理食塩液 100ml / ルートキープ
- ② グラニセトロンバッグ(1mg/50ml) 1P+ デキサート(6.6mg/2ml) 1V/ 30min
- ③ 生理食塩液 50ml / 全開(フラッシュ)

Y ④

アブラキサン ()mg/body + 生理食塩液 100ml / 30min

Y ⑤ 生理食塩液 50ml / 全開(フラッシュ) Y字から投与, バッグアダプタ使用

Y ⑥

ベバシズマブ ()mg/body + 生理食塩液 100ml / ※

インラインフィルターは使用しないで下さい！！

Day8

- ① 生理食塩液 100ml / ルートキープ
- ② グラニセトロンバッグ(1mg/50ml) 1P+ デキサート(6.6mg/2ml) 1V/ 30min
- ③ 生理食塩液 50ml / 全開(フラッシュ)

Y ④

アブラキサン ()mg/body + 生理食塩液 100ml / 30min

インラインフィルターは使用しないで下さい！！

※ ベバシズマブ(アバスチン)の投与時間は初回は90分で行い、以後特に問題がなければ、2回目は60分、3回目以降は30分で投与できる。

調製方法

※1バイアルあたり生理食塩液20mlが必要。

- 1) 1バイアルあたり生理食塩液20mlを、バイアルの内壁伝いに、直接内容物にかけないよう泡立ちに注意しながらゆっくりと注入する。
- 2) 内容物が確実に濡れるよう5分間以上バイアルを静置する。
- 3) 生理食塩液のバッグから残液を廃棄し、空のバッグを作る。
- 4) 内容物が十分に濡れたら、均一な白色ないし黄色の懸濁液になるまで、泡立たないよう混和する。
- 5) 必要量をバイアルから抜き取り、3)で用意した空のバッグにゆっくりと注入する。

減量の目安

前回投与後の経過により、次回投与量を減量する(詳細は添付文書を参照)。

減量段階	投与量
通常投与量	260mg/m ²
1段階減量	220mg/m ²
2段階減量	180mg/m ²

※パクリタキセル(アルブミン懸濁型)は特定生物由来製品です。そのため、「輸血用血液製剤及び血漿分画製剤使用承諾書(特定生物由来製品使用承諾書)」による患者の承諾が必要です。